

組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

No440

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和 4 年 5 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

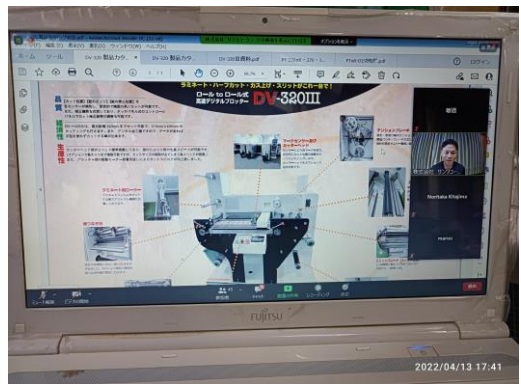
「オンラインミニ機材展」を
5社がプレゼンテーション
今後も定期的開催を予定

組合主催の「ラベル関連ミニ機材展」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって三度中止となりましたが、ラベル組合、正札シール組合、神奈川の三協組が一緒になってオンラインによる展示会に切り替えられました。

第一弾としては三月二十四日に正札シール組合主催で「ビジネスマッチングオンライン」として開催されましたが、第二弾として当組合主催で四月十三日に「オンラインミニ機材展」として開催されました。

午後五時に北島理事長のあいさつの後、オンライン機材展が開始されましたが、今回参加したのは、三条機械製作所、マルウ接着、サンワークケン、塚谷刃物製作所、ピーエス工業の五社でした。

最初に三条機械製作所が新型凸版間欠機「JNAS S」を紹介しました。同機は新機能、自動見当・監視システムを搭載した最新鋭のラベル印刷機。マルウ接着は環境配慮型フィルム製品「ユポ80 GP 溶強GBGS」を紹介、ユポ80GBはバイオマス樹脂配合の合成紙で、従来化石燃料由来樹脂の一部を植物由来のバイオマス樹脂に代替することでCO2の排出量を削減している。サンワークケンは、高速デジタルプロッター『DV-320III』を紹介、紙の停止位置、紙のエッジ、紙の検知し、安定的で精度の高いカットができるロール方式の高速デジタルプロッターです。塚谷刃物製作所は、同社の主力商品であるピナクルダイの紹介と①糊対策②材料による羽角の選定③耐久性について説明しました。最後にピーエス工業が、どうすれば組合事業ができるのかを模索していきたくて「結びました。」と結びました。



東京都中央会が青年部の実態調査

会員の高齢化と会員数の減少課題

成果としては組合の活性化に貢献

青年部は組合運営に重要な役割担う

組合で回答のあった149組の中で、「1～2万円未満」が33組合(21.6%)、「3～5万円未満」が20組合(13.1%)等となった。

16. 青年部の会議(総会、理事会、委員会等)の年間開催回数(直近)について
「200万円以上」が21組(14.1%)等となった。青年部の年間の予算額については、100万円未満の組合が約6割を占めている。理事会、委員会等)の年間開催回数については、「1～5回未満」が73組合(48.0%)で最も多く、次いで、「5～10回未満」が33組合(21.7%)、「10～20回未満」が26組合(17.1%)等となった。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられ、会議の開催は「1～5回未満」で約6割を占めている。

17. 青年部が実施している事業について
青年部を設置している組合で回答のあった152組合の青年部が実施している事業については、複数回答で、「勉強会・講習会」が123組合(80.9%)で最も多く、次に「親睦・レクリエーション」が117組合(77.0%)、「組合との事業連携」が98組合(64.5%)等となった。「平成23年度調査」の上位3回答は「勉強会・講習会・見学会」、「親睦・レクリエーション」、「組合との事業連携」の順であり、今回調査でも全く同じ順位となった。また、今回新規で設けた項目である「SNS等による情報提供」については、約2割の青年部が実施していると回答があった。

18. 青年部活動で直面している課題について
青年部を設置している組合で回答のあった150組合の青年部活動で直面している課題については、複数回答で、「会員の高齢化」が84組合(56.0%)で最も多く、次いで、「会員数の減少」が79組合(52.7%)、「活動や会合等への参加率が低い」が33組合(22.0%)等となった。「平成23年度調査」と比較すると「会員の高齢化」については9.4ポイント

19. 組合から青年部への年間支援額(直近)について
青年部を設置している組合で回答のあった154組のうち、「10～50万円未満」が59組合(38.3%)で最も多く、次いで、「支援額なし」が29組合(18.8%)、「10万円未満」が27と「開催なし」で約6割を占めている。

20. 青年部1会員あたりの年間会費額(直近)について
青年部を設置している組合で回答のあった153組合の青年部1会員あたりの年間の会費額について回答で、「徴収なし」が61組合(39.9%)で最も多く、次に「1～5万円未満」が29組合(18.8%)、「5～10万円未満」が27と「開催なし」で約6割を占めている。

21. 青年部が実施している事業について
青年部を設置している組合で回答のあった152組合の青年部が実施している事業については、複数回答で、「勉強会・講習会」が123組合(80.9%)で最も多く、次に「親睦・レクリエーション」が117組合(77.0%)、「組合との事業連携」が98組合(64.5%)等となった。「平成23年度調査」の上位3回答は「勉強会・講習会・見学会」、「親睦・レクリエーション」、「組合との事業連携」の順であり、今回調査でも全く同じ順位となった。また、今回新規で設けた項目である「SNS等による情報提供」については、約2割の青年部が実施していると回答があった。

22. 青年部の年間の予算額(直近)について
青年部を設置している組合(39.9%)で最も多く、次に「1～5万円未満」が20組合(13.1%)等となった。

23. 青年部の年間の予算額(直近)について
青年部を設置している組合(39.9%)で最も多く、次に「1～5万円未満」が20組合(13.1%)等となった。

東京都中小企業団体中央会では、このほど「中小企業組合青年部及び女性部実態調査報告書」を発表しました。同調査は一〇年ぶりに実施されたもので、青年部と女性部についてアンケート調査をしているが、ここでは青年部のみの調査結果(概要)について解説し、前回に続き後半を掲載します。

13. 青年部の年間の予算額(直近)について
青年部を設置している

増加しており、会員の高齢化が進んでいることが分かった。また、「会員数の減少」については0.7ポイントと減少はしているが、依然として約5割の青年部が課題として捉えている。

「その他」として、「新型コロナウイルスの影響による活動の減少」や「休止」といった課題が挙げられた。

19. 青年部の事業活動による成果について

青年部を設置している組合で回答のあった152組合の青年部の事業活動による成果については、複数回答で、「組合の活性化に貢献」が103組合(69.1%)と最も多く、次いで、「人脈・仲間づくり」が104組合(68.4%)、「組合活動への理解の向上」が93組合(61.2%)等となった。

「平成23年度調査」の上位3回答は「組合の活性化に貢献」、「人脈・仲間づくり」、「組合活動への理解の向上」の順であり、今回調査でも全く同じ順位となったが、「組合の活

化に貢献」は8.8ポイント、「人脈・仲間づくり」は8.6ポイント、「組合活動への理解の向上」は8.2ポイントと、それぞれ増加した。

ザイコンジャパン㈱が協賛会に加入

社名・ザイコンジャパン株式会社

住所・東京都文京区湯島三ー一三MSビルF五八〇七・〇二一〇
代表者・星名 勸

第56回通常総会上野東天紅

総会への出席は組合員の義務ではなく権利です!

5月20日(金)午後5:00

日本ウエスト

川越第二工場が竣工
カーボンニュートラルによる需要の増加を受け

日本ウエスト(長田和志社長)グループの川越テック株式会社ではかねてより、埼玉県川越市芳野台に第二工場の建設を行っていました。が三月十九日に竣工の運びとなりました。

二〇五〇年カーボンニュートラルに向けRF需要の増加を受けた生産拡大、先進的なサイクルの取り組み実施、また水災被害の経験からBCPを見直し、より安定したサービス提供へ向けて第二工場建設計画がスタートしました。

同社では「最新鋭の設備導入による、高度なサイクルを進め廃棄物の再資源化による

環境負荷低減を実現してまいります。新工場竣工を機に、社員一同気持ちを新たに精励する所存でございます。第一工場、第二工場双方の工場でバックアップできる体制を作り、今後も循環型社会形成に向けた役割を継続してまいります。」と語っている。

川越第二工場の住所は次の通り。
住所・埼玉県川越市芳野台一の一〇三の四四
電話・〇四九・二九九・六八五〇



「微生物の生態系が崩れはじめた」

(有)TOOV 篠田 ちる

序章・人体の九〇％は微生物でできている

ヒトの遺伝子は線虫とほぼ同じ二万一〇〇〇個、ヒトゲノムのサイズは植物のイネの半分しかなく、三万一〇〇〇個の遺伝子を有するミジンコにもはるかに及ばない。人体は共存共栄しながら体を維持している生物種の「集合体」である。人体に棲むこれらの微生物を合わせると遺伝子の総数は四四〇万個になる。

これがマイクロバイオームのゲノム集合体、つまりマイクロバイオームである。微生物の四四〇万個の遺伝子は二万一〇〇〇のヒト遺伝子と協力しながら体を動かしている。

遺伝子の感図で比べればヒトの部分は〇・五％でしかない。ヒトゲノムは二〇〇六年初回走行が出来たとビル・クリントン大統領は「私たちは神が生命を創出するのに使った言語を

重ねるごとに景色を変えるこの惑星は、微生物にとつてエデンの園だ。

どんな動物も多かれ少なかれ、共生微生物に自身の生存を頼っている。生き残るための戦略は各種各様で、微生物との提携戦略は十二億年前に多細胞が誕生したときから進化ゲームの推進力となってきた。

宿主動物の細胞数が多ければ、それだけ多くの微生物が共生できる。ヒトの胃は食べ物を混ぜ合わせ、消化酵素を出し有害なものを殺すため遺産を出す。小腸は多くの酵素で食べ物を分解し、小腸壁から食物分子を血液中に吸収する。

そして大腸の入り口に盲腸がある。盲腸は消化管の微生物共同体の心臓部である。虫垂は痛みや炎症を起す器官として役に立たないと、しかし、虫垂の中で微生物はバイオフィルムを形成している。バイオフィルムとは互いに支え合い有害な細菌を侵入させないように守る層で、免疫系に必須な部位である。

少なくなるとも成人にならない。まで虫垂は保有していた方がいいことがわかってきた。再発性の消化管感染症や免疫機能障害、血液の癌、一部の自己免疫疾患、さらに心臓発作まで予防しているという。虫垂が微生物の隠れ家であることが何らかの形で役立っている。虫垂は無駄な器官ではなく、体にとってなくてはならない存在だという事実。微生物はヒトの腸のために尽くし、尽くすという互いに進化してきた。

マウスの腸壁の細胞が微生物の発する命令に従ってエサとなる分子を放出し、微生物が群落をつくる手伝いしていることを見出したマイクロバイオームの存在は町内の化学環境を変えるだけ手なく、腸の形態まで変える。微生物がいる腸壁では指状突起が長く伸びエネルギーを得るのに必要な表面積を増やしている。微生物がいけない腸壁は表面積が小さいため、同じエネルギーを得るのに食物を三〇％多く摂取しなければならない。

■ バランスの良い食事はよくバランスの良い食事を言われませんが、これはどういうことでしょうか。栄養素のバランスがとれた食事を、腹八分目を心がけ一日三食取り入れることで。一日三食食べることは活動に必要なエネルギーや栄養素を補うだけでなく、

No186 健康がいちばん!
バランスの良い食事とは何か
健康は規則正しい食生活から

余ったエネルギーは体脂肪となり体に蓄積され肥満を引き起こします。

規則正しい食生活を続けることで以下の効果があります。

体的に料理メニューを提示しています。主食はご飯、パン、麺類でも構いません。「食あたり一〜二つにするようにします。いくら主食の五〜七つの範囲内でも、一食で主食中心の食事はバランスが悪いだけでなく、血糖値が上昇し、脂肪として蓄えられ肥満につながるので、毎食同じ量を取り入れるようにします。

また、摂取エネルギーが少なく、消費エネルギーが多い場合には体重は減っていきません。健康的な体重減少であれば問題ありませんが、食欲の低下や偏った食事により摂取エネルギーが減ってしまった場合には、栄養素も十分に補えていないので、健康を維持することが難しくなってきました。

- ① 適正体重の維持
- ② 健康の維持増進
- ③ 生活リズムが整う
- ④ 腸内環境が整う(便秘改善)
- ⑤ 自律神経の乱れを防ぐ
- ⑥ 気持ちの安定

副菜はサラダや和え物、煮物、炒め物など毎食二つを目安に取り入れます。朝忙しいときは、副菜はゼロにせず、一〇〇%の野菜ジュースでも良いのでとり入れます。主菜は肉、魚、大豆製品、卵を一日の中で万遍なくとり入れます。とくに大豆製品と魚は毎日取り入れるようにします。

■ 規則正しい食生活とは
食事は一日三食とし、毎日同じ時間帯に食事を摂るようにします。毎食のエネルギー量は朝・昼・夜を3…4…3(または3…3…4)の割合にするのが理想的です。夕食の量が多かったり、寝る二時間前の食事は肥満を招きます

また、食事と食事の間隔が空きすぎてしまうと、体が飢餓状態となり、一度に沢山食べてしまいます。さ

【参考資料】
www.kracie.co.jp

また、食事と食事の間隔が空きすぎてしまうと、体が飢餓状態となり、一度に沢山食べてしまいます。さらに朝食を抜いてしまうと、体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

さらに朝食を抜いてしまうと、体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

さらに朝食を抜いてしまうと、体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

生活リズムを整える点でも重要です。健康維持のためには食事からの摂取エネルギーと一日の活動で使われる消費エネルギーのバランスになります。

消費エネルギーが少なく、体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

体は代謝を抑えてエネルギーが少なくなり、

なるほど・ざ・新製品

ザイコンジャパン(東京都文京区湯島三の1の3)は、その広範な製品群を進化し続けています。従来機種 M S ギョル 03-5807-0210)は、Panther UV

インクジェット技術のバージョン 2.0 と新しいラベル印刷機 2 機種、Xeikon PX3300 と Xeikon PX2200 を発表しました。Xeikon は技術の進歩に伴

Xeikon Panther 2.0 シリーズ Xeikon PX2200 と PX3300 UV インクジェット印刷機新たな用途を



この Panther 2.0 シリーズは、ラベル印刷会社にとって、高い耐擦過性を持ち光沢度が高く耐久性のあるラベルを制作することができます。

Xeikon の新しい堅牢な Panther DuraCure™ UV 技術は、高い光沢効果と最高レベルの色域を実現し、工業、化学、家庭用ラベルからプレミアムビール、スピリッツ、飲料、健康&美容市場まで、多種多様なアプリケーションで優れた長期耐久性を提供します。

ザイコン社は、デジタル印刷技術における長年のリーダーであり、イノベーターです。ザイコン社では、品質、柔軟性、持続可能性の原則に基づいて、ラベルおよびパッケージ、ドキュメント印刷、商業印刷向けのロール給紙型デジタルカラー印刷機を設計、開発、提供しています。これらの印刷機は、様々なイメージング技術、オープンワークフロースフトウェア、およびアプリケーション固有の消耗品に対応します。

両機種ともに、白インク用に 5 番目の印刷ステーションを追加搭載することができ、クリア・オン・クリアに加えて、塗工紙、ビニール、PP、PE、PET、特殊処理素材を含む幅広い自己粘着ラベル基材に印刷することが可能。

PX2200 と PX3300 は、専用の PantherCure UV インクの利点を活用して、